

代表就任にあたってのメッセージ

1. はじめに

このたび代表取締役に就任しました植田 健と申します。

2017 年の M&A から携わって 6 年になります。この間ゴミを取り巻く環境、社会も大きく変化しました。これまでよりも柔軟な対応が求められています。交代した背景には社会の変化があり、目まぐるしく変化する時代においても、お客様のニーズをしっかりと感じ取れる会社にしたいという経緯で新代表に就任しました。

弊社は、先代が M&A 後の数年間でしっかりと土台を築きました。弊社にはお客様のために真っすぐ頑張る社員が多く、お客様のためにひたむきに努力する風土が醸成されています。土台はできているので、先代から引き継いだ会社で夢を実現したいです。

私の中で志が芽生えたのは日本サニテイションに入社した時です。当時、廃棄物処理業界のことも知らず、人々の身近にこんなにも真摯に社会貢献を体現している存在がいたことに気づかされました。廃棄物処理業は人々の生活、社会の発展と密接に関係している社会インフラの 1 つです。その一方で社会からは人知れず町をきれいにしている影武者のような存在で、それが当たり前だと思われています。社会的地位を上げて、日の目を浴びる存在になりたいと思いました。これが会社を発展させたいと思ったきっかけです。これまで『お客様が綺麗な環境で快適な時間を過ごすことに貢献したい』という想いで活動してきました。これからもその想いは変わらず、より多くのお客様に弊社の価値を提供したいと思っています。

2. 業界の動向と抱負について

弊社は現在約 1,500 社のお取引があります。これは日本市場でのお話ですが、世界にはもっと広大なシェアが広がっています。弊社は現在、ある国からも仕事を依頼されており、マーケットは日本だけではございません。すなわち、我々のマーケットは 1 億 2000 万人ではなく、80 億人です。ゴミ問題は地球全体で解決しなければならない大きな問題となっています。我々は世界のゴミも請け負う覚悟です。

時代の流れが早くなっていますので、従来のビジネスモデルを踏襲するだけでは立ち行かなくなっているのが現状です。ゴミをゴミでなくする（資源化する）時代が迫ってきます。それは 100 年先の暮らしを見据えて循環型社会の形成が求められているからです。弊社のキャッチコピーは『捨てられるものを、愛されるものへ』と決めております。

社会の今までのゴミに対する考え方（常識）を変えて、変革しなければいけない時期に突入しております。

受け身でゴミを集めて処理する時代は終わりを迎えています。日本という小さい国から世界にゴミのオペレーションを発信したい（提供したい）です。目標を実現するためにしっかりとイメージして確実に実行に移していきます。これからもお客様に寄り添ったサービスを追求し続け、『廃棄物処理と言ったら、日本サニテイション』と言われるような日本を代表する企業になりたいと思っています。

夢物語に聞こえるかもしれません、ここ 10 年～20 年で日本代表になった企業がいくつかあります。20 年あれば当社も社会全体からの信頼を得られるようなブランド力のある企業になれる可能性があります。

自分の信念を曲げずに貫いた結果、日本を代表する企業の一つになるために、社員一丸となって、日々研鑽しています。

3.顧客に対して

弊社は創業以来、60余年にもわたり、廃棄物処理の会社として営んできました。これはお客様に恵まれ、支えられてきたからに他なりません。この先10年後、20年後も求められる存在であり続けたいと思っています。今後もお客様が期待するものをしっかりととらえ、当社のサービスを全社員で一番ふさわしい形で提供してまいります。

我々の仕事は、社会の人々が当たり前の生活ができるようにすることです。人々が当たり前と思える環境を常に作り出すために日々努力を重ねています。社員は『職人』であり、一人一人がプライドを持って仕事をしています。人のために生きることにやりがいを感じ、廃棄物処理の仕事に携わることで社会貢献を体現しています。これによって、お客様の当たり前の生活を衛ことに貢献しています。

もう一度安全管理、コンプライアンスを見直し社員研修も行ってまいります。当たり前のことを当たり前にやり続け、お客様に安心を届けます。

4. 学生、転職活動中の人に対して

廃棄物処理の仕事は社会貢献を体現できる最大のステージです。変化が激しい時代でも、お客様が本質的に求めているものはゴミがなくなる安心感（ホッとする気持ち）で、我々は社会の人々の当たり前の生活を日々創造しています。社会のために生きていることをリアルに感じ取れる、すばらしい仕事です。弊社は数ある廃棄物処理業者の1つですが、自分たちが日本をきれいにしていると誇りをもって仕事をしています。より多くのお客様に弊社のサービスを提供し、心から喜んで頂きたいと考えております。

近年はゴミと地球環境は切り離せなくなっています。持続可能な住みよい世界：循環型社会を実現が必要になってきています。誰かがやらなければならないという信念のもと、弊社がトップランナーになって業界をけん引していきたいと思っています。

5. 社会に対して

ゴミに対する社会の考えはその時代の経済と国際情勢など様々なものに起因し、日々イノベーションしています。時代が変化し社会が変化しても、ゴミに対して真摯に向き合うことで社会に求められる企業であり続けたいという想いがあります。これから将来、限りある資源で持続可能な世界を目指すために循環型社会が求められます。地球上のあらゆる資源に才能を見出し、未来の資源に生まれ変わらせることが必要です。それは誰も成しえなかつた困難な道かもしれません。それでもゴミの可能性を信じて本気で挑戦していきたいと思っています。

まとめ

廃棄物業界の将来を真剣に考えています。業界No.1のサービスを提供して、名前を聞けば誰もが知っているような一流ブランドの企業を目指します。我々が業界をけん引して、世界が嫉妬する会社になって

みせます。

今後とも皆様の変わらぬご愛顧を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

日本サニテイション株式会社

代表取締役

直田 健